

【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024 年 12 月 1 日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
膵癌	■進行・再発 ■術前補助療法 □術後補助療法	GS療法	21日間	進行・再発：規定無し 術前補助：2コースまで	中

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	ソルデム3A	200mL	点滴静注	60分	↓							↓													
②	パロノセトロン デキサート 生理食塩液	0.75mg 6.6mg 100mL	点滴静注	20分	↓							↓													
③	ゲムシタピン 生理食塩液	1000mg/m ² 100mL	点滴静注	30分	↓							↓													
※	S-1	下記参照	内服	1日2回朝夕食後	↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓ ↓	↓						

《注意事項・備考》

- ・制吐療法：悪心嘔吐状況に応じてアロカリス点滴静注235mg投与を考慮、投与の際はデキサート3.3mgへ減量とする
- ・GEM：血管痛対策として溶解液を必要に応じて5%ブドウ糖液へ変更を考慮
- ・術前補助療法：2コースまで
- ・S-1用量：BSA<1.25㎡：80mg/day、1.25㎡≦BSA<1.5㎡：100mg/day、BSA≧1.5㎡：120mg/day
- ・S-1服用期間：day1 夕食後～day15 朝食後まで
- ・流涙（S-1）：ソフトサンティア適宜使用